



平成 18 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社ベネフィット・ワン
代表者の役職氏名 代表取締役社長 白石徳生
(東証二部：2412)

問 合 せ 先 取締役経営管理部長 管理担当
役 職・氏 名 小山 茂和
電 話 03 - 4360 - 3159

平成 19 年 3 月期 通期業績予想 (連結・個別) の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 18 年 5 月 11 日に公表しました通期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日) の業績予想を下記のとおり、変更いたしましたのでお知らせいたします。

今般、中間期実績を踏まえ見直した結果、個別通期業績予想について適時開示規則に基づく上方修正を発表することになりました。また、これを機に連結業績についても見直し、同時に発表を行なうものです。

記

1. 平成 19 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日) (単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	8,749	861	511
今回修正予想 (B)	8,803	1,132	646
増減額 (B - A)	53	270	135
増減率 (%)	+0.6%	+31.5%	+26.4%
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	8,075	951	568

2. 平成 19 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日) (単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	11,022	1,130	663
今回修正予想 (B)	10,243	1,186	667
増減額 (B - A)	779	55	4
増減率 (%)	7.1%	+5.0%	+0.6%
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	8,223	919	543

3. 修正の理由

(1) 通期個別業績

売上高は 8,803 百万円（前期比 9.0%増、前回予想比 0.6%増）と、福利厚生事業の受注が民間・公務マーケットともに前回予想を上回るペースで推移するものと予想され、伸び悩む物販事業をカバーし、通期で前回予想を若干上回る見通しであります。

更に、経常利益は 1,132 百万円（前期比 19.0%増、前回予想比 31.5%増）と、中間期で当初計画比増益を確保し、下期も概ね当初計画どおり推移するものと見込まれ、通期では前回予想を上回る見込みとなりましたので業績予想の修正を行なうものであります。

(2) 通期連結業績

売上高は 10,243 百万円（前期比 24.6%増、前回予想比 7.1%減）と、上記個別業績に記載の通り、主力の企業向け福利厚生事業は引続き好調に推移するものと予想される反面、特に物販事業について連結子会社ベネフィットワン・パートナーズを中心に事業開始時期の遅れの影響が残り、予想を下回る見込です。

経常利益は 1,186 百万円（前期比 29.1%増、当初計画比 5.0%増）と、ベネフィットワン・パートナーズを中心にグループ会社で当初想定していた事業拡大のスピードが鈍化する見通しですが、他方で、上記個別業績が福利厚生事業の堅調さに下支えされ収益を引き上げることで、前回予想に対し小幅ながら増益の修正予想を発表するものであります。

上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上